

Topic 1 高性能マルチスライス CT 導入のご案内

2011年7月、当クリニックでは新型のマルチスライス CT Aquillion CXL を導入いたしました。今回導入した CT 装置は、1回転で 128 スライスの再構成画像を瞬時に得ることができるマルチスライス技術を搭載しておりますので、撮影時間の大幅な短縮が可能となり、これまでに比べ、より精細な画像を得ることができます。

また、進化した被ばく低減技術 (AIDR 3D) やアーチファクトアルゴリズム (Boost3D)、画像再構成技術等の特徴を有しており、下記の診断能が向上しております。

- ・ 短時間での広範囲撮影 (胸腹部)
- ・ 各血管評価の撮影 (頭部 CTA、大血管、下肢血管)
- ・ 低線量による骨撮影 3D 画像

今回は、これまで以上に診断能が向上した検査について簡単にご紹介させていただきます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

お問合せ先：03-6202-3370 (医療連携部)

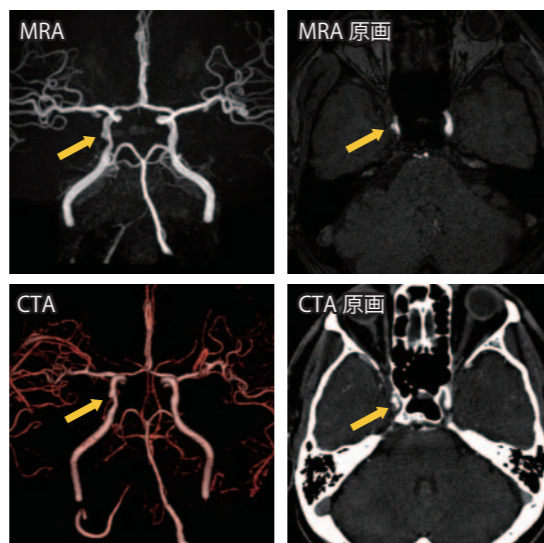
頭部 造影 CT 血管撮影検査 (CTA)

MRI にて指摘された脳動脈瘤を確定するために行われる検査には 2 種類あり、血管造影検査 (カテーテルを用いたアンギオグラフィー検査) は、造影剤の使用量や X 線被曝も多いリスクの高い検査です。

その反面、CT 装置による血管造影検査 (CTA) では、短時間で検査が行え、リスクとコストの面でもかなりメリットがあります。

CTA 検査は、短時間で終了しますが、撮影後の画像処理に時間を要するため、今現在は、画像の当日持ち帰り、当日読影には対応しかねます。ご了承ください。

但し、急を要する所見の場合は早急にご連絡申し上げます。

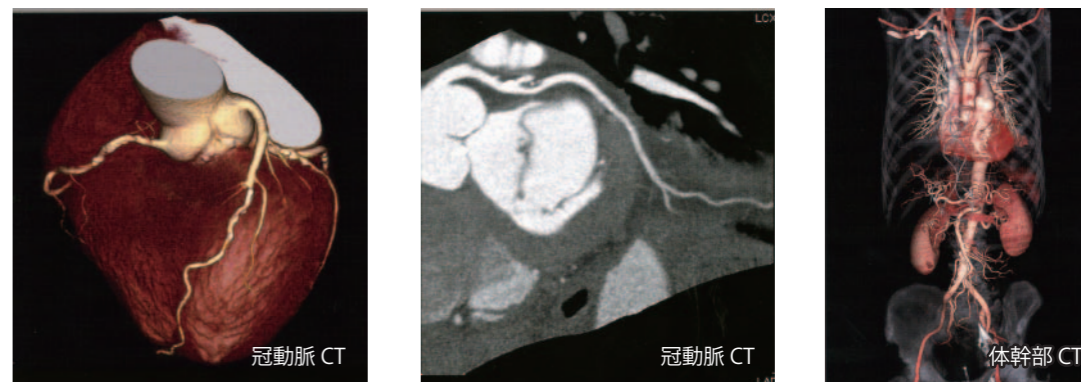


冠動脈 造影 CT 血管撮影検査

造影剤を急速静注し、動脈内の造影剤濃度が最も高くなるようなタイミングで CT を撮影することで、冠動脈等の血管走行を明瞭に描出する検査です。

心臓・冠動脈の評価においては、どのような状態にあるかを鮮明な断面画像、及び立体画像で詳しく診断でき、高い精度で冠動脈狭窄部位や石灰化などを発見できます (大血管も同様に描出可能です)。

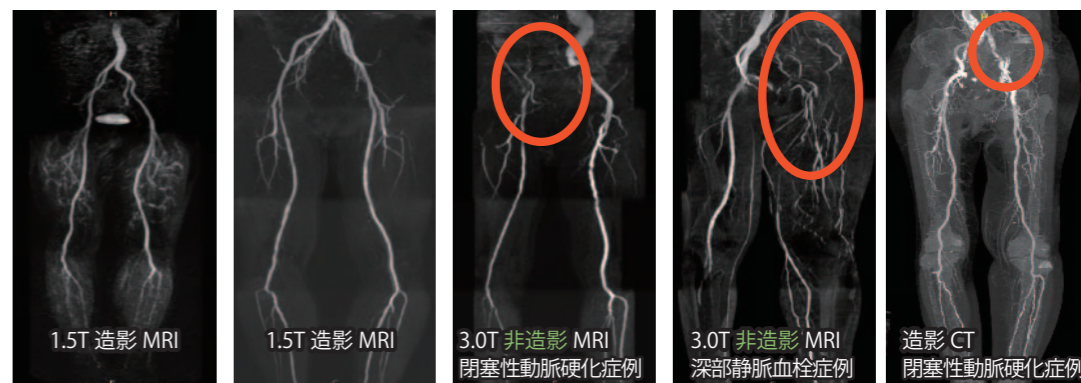
特に冠動脈の検査の場合は、描出能向上と X 線被曝量低減を目的に、検査前に描出能改善剤を用います。また、HR が 70 を超える場合は、血圧を下げるお薬を処方していただく場合がございます。



下肢 造影 CT 血管撮影検査

閉塞性動脈硬化症や深部静脈血栓症の早期発見を目的に当クリニックでは MRI による下肢血管撮影を実施しておりますが、動脈硬化が著しく血流量が減少している方は、血管壁の描出が難しいという現状もあります。

これからは、患者様の状況により、造影 MRI、非造影 MRI、造影 CT の検査から有効な手段を選択できるようになりました。検査の選択に悩まれる場合はお気軽にお問い合わせください。



Topic 2 年末年始 休診のご案内

本年も当院をご利用いただき、誠にありがとうございました。

ここに年末年始の休診日をお知らせいたします。ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

日	月	火	水	木	金	土	
12/25	26	27	28	29	30	31	□：休診
1/1	2	3	4	5	6	7	□：通常診療
							■：18時までの診療です

年末の検査結果レポートの発送は、年始となる場合がございます。

検査結果をお急ぎの場合は、検査予約時にお申し付けいただければ先に FAX で対応させていただきます。

来年度も画像検査診断の質の向上を目指してスタッフ一同取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。